

社会に安全と安心を提供する 品質保証を科学するモノづくり集団

マークテック株式会社

マークテックは非破壊検査用探傷剤の化成品メーカーとして1955（昭和30）年に設立し、その後、非破壊検査とマーケティングの総合メーカーとして、世界を舞台に事業展開している。特に国内トップメーカーとして、顧客ニーズにマッチした機械装置と純正消耗品（化学品）の開発をすることで他社にはできないワンストップサービスの提供ができる点が、マークテックの大きな強みだ。

「非破壊検査」とは、例えば部品や製品を傷つけることなく微細な欠陥を見出して、破壊事故を未然に防ぐ技術で、自動車や鉄道、飛行機などあらゆるシーンで私達の

日々の生活に欠かせないものとなっている。生活の基盤である「安全」を確保するための技術である。

もう1つの事業の柱である「マーケティング」とは、主に鋼管、厚板、コイルなどの特殊鋼材へ直接傷マーケティングや、トレサビリティ用の英数字、二次元コード、製造者マークなどを印字するもの。製鉄所内のトラッキングや万が一、不具合のあった製品の特定・回収など、こちらも安全性の確保と、品質保証領域において欠かせない技術である。

● 早い時期から積極的なグローバル化を推進

西本圭吾社長が「社会に安全と安心を提供し続ける『品質保証を科学するモノづくり集団』として、世界に通用するブランドをつくる」と語る通り、上記2つの事業を柱に、マークテックでは早い段階から海外へ積極展開してきた。中国、韓国、タイへと展開し、中国とタイでは100%出資の工場を建設。最近では2019年12月に、インドネシア・ジャカルタにて、協

● 社是・理念

【企業理念】

品質保証を通して社会に安全と安心を提供する

【ビジョン】

お客様に“ありがとう”と笑顔で感謝される“モノづくり集団”

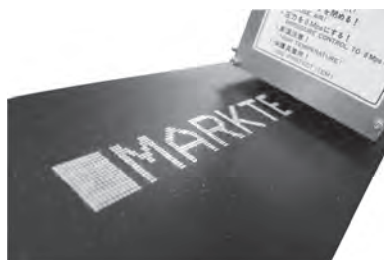
【中期経営ビジョン】

“品質保証を科学するモノづくり集団”として、日本、そしてアジアから世界に通用するブランドをつくる



代表取締役社長

西本 圭吾 氏



印字装置「PJ-1B」（使用例）



非破壊検査剤「スーパーチェック」

● 長寿の秘訣

品質保証に関係するのは鉄鋼や自動車、発電所といった生産分野だけではない。最近では台風など自然災害が多発し、ドアやサッシなど建材メーカーの耐久性環境試験に関するニーズも高まっている。人々が安全・安心に生活する社会の実現に、幅広く貢献できる技術を持つことが、同社の存在価値を高め、さらなる成長を予感させている。最近ではドローンの安全性など、新しい技術の誕生もマークテックの可能性を広げていく。



● 会社概要

設立：1955(昭和30)年3月
所在地：東京都大田区大森西4-17-35
事業内容：非破壊検査用品、機器の開発・製造・販売、据付工事の請負。
化学薬品の開発・製造・販売。印字装置の開発・製造・販売、
据付工事の請負。マーキング装置(位置等表示)の開発・製造・
販売、据付工事の請負。ほか
資本金：20億7,861万円
売上高：連結54億円・単体36億円(2019年12月期)
社員数：134名(2019年12月31日現在)

URL：<http://www.marktec.co.jp/>



成田工場

入れている。18年には実環境試験装置(建材向け動風圧試験装置など)の本田工業(大阪市)を子会社化した。品質保証に関連する技術を持つ中小企業を傘下に入れることで、技術継承を積極的に進めていく考えだ。品質保証を柱にした、多角的かつ積極的な経営戦略で、モノづくり集団として創業100年を目指す方針だ。

業パートナー施設内にデモルームを新設した。また、20年にはインドの現地パートナーの協力を得て現法 MARKTEC INDIA を設立し、市場開拓、生産・製造設備の立上げ、品質管理体制の構築を目指すことが決まっている。

こうしたグローバル路線を担う人材教育にも力を入れていて、マルチな人材を育てるための独自の社内教育システムを採用している。西本社長は「同じ製造業でも、うちは若い社員が多くて、平均年齢は30台半ば。若い人でもやる気とスキルがあれば、一人でも海外で仕事ができるような、社内の仕組みを構築した」と言う。

さらに、マークテックはM&Aによる技術継承にも力を